

キャー！ゴキブリ
どうする？
害虫の駆除

事例

大学生になり一人暮らしを始めたが、深夜にベッドの下にゴキブリを見つけ、慌ててスマホで検索し、「基本料金980円」とある駆除業者に依頼した。結局、ゴキブリは見つからなかったものの、「卵や、ふんがある」と説明され、薬剤代として5万円を請求されて支払った。翌日冷静に考えると、殺虫剤のようなものを散布しただけなのに、この金額は高いと思った。

生活の中で突然起こるトラブルの一つとして、害虫駆除に関する相談が初夏ごろから増えます。ゴキブリのほかにも、蜂の巣の駆除をネットで見つけた業者に依頼したところ、危険な蜂の種類で特別な処置が必要と説明され、想定以上の請求を受けた例もあります。

ネット検索は便利ですが、検索結果の上位に表示される「ス

ポンサー」と書かれたものは広告です。そこに掲載されたサイトの多くは安価な料金を強調していますが、実際には出張費や夜間料金、薬剤代などが加算され、最終的に高額になることが少なくありません。「○○○円」や「基本料金」といった表記には注意をし、「本当にその金額だけで済むのか」と疑うことも必要です。夜間や一人の状況では冷静な判断が難しい場合もありますが、慌てている時こそ価格だけで選ばず、複数の業者を比較しましょう。

ゴキブリやダニなどは、発生時期や習性を知って、部屋の清掃や市販の捕獲用粘着シート、殺虫剤を常備することで、自分で予防や駆除が可能です。一方、蜂のように危険な害虫で業者に依頼する際には、事前に信頼できる業者を調べておくことが大切です。日本ペストコントロール協会のホームページには有害生物の対策が、大阪府ペストコントロール協会のホームページには近隣地域の会員駆除業者が掲載されています。参考にするようにしましょう。

国消費生活センター

TEL 6319・1000
FAX 6319・1500

市民の施設の運動は 人事募集 幼稚園の 子育て支援活動 すくすく はつらつ デジタル フォト アラジンズ